

専用スタジオも完備する  
モンキーガレージを直撃!



- SHOP : Tech Team's Monkey Garage
- PHOTO&REPORT : Tsuyoshi Chiwa
- TRANSLATION : Keizo Kagaya(KA-HA-TradingGmbH)
- SPECIAL THANKS : C.F.POSH(Tokyo&Osaka)

4MINIは  
年齢や性別無関係で楽しめます!

THE  
4MINI  
WORLD  
SURPRISING  
DISCOVERY  
vol.10  
Duisburg Germany  
🇩🇪

ドイツ西部の街ドゥイスブルク。ナビを頼りにたどり着いたのは住宅街にひっそりと建つモンキーガレージだ。この日は撮影のために大勢の4MINIファンが集まってくれたが、ダンナ様と一緒にお年を召した女性も4MINIを楽しんでいることに驚いた。まさに老若男女、4MINIは誰でも楽しめる魔法のアイテムです。

キタコファン発見!

OWNER Frank (48歳)  
MACHINE Monkey



▲カーボンサイレンサーが外見を引き締めるキタコ製ステンアップマフラーを採用。



トリコロールカラーが気に入りのフランクさん。マフラーやスイングアームなどはキタコ製で統一するというキタコファンだ。「模型のような雰囲気が好きなんだ」と、この日は自走で来てくれました。

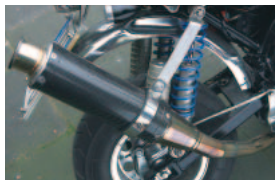
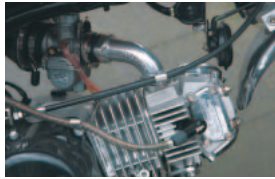
◀スイングアームは適度な延長となるキタコ製をチョイス。リヤショックもキタコ製を合わせる。

OWNER Burkhard (48歳)  
MACHINE Monkey



▲C.F.POSH製デジタルCDIは日本でも人気の逸品。良いモノはこの国でも人気です。キタコ製スイングアームやKYB製リヤショック、C.F.POSH製CDIなど、メイドインジャパンを多用。「モンキーはコンパクトなところが気に入っている」という社長のマシン。

▼ナイス110のエンジンに、SP武川製スーパーヘッド+Rやケイヒン製PE26φキャブなどを装備。



▲デイトナ製スイングアームにKYB製リヤショックを組み合わせる。マフラーはカーボンサイレンサーのキタコ製を加工して装着。

「自分の体型にピッタリのゴリラを作ったんだ」と嬉しそうに語ってくれたフリッツ。ゴリラの車体にナイス110のエンジンを搭載し、信頼性の高い日本製パーツをふんだんに投入した1台だ。

メイド・イン・ジャパン多数使用

OWNER Fritz (49歳)  
MACHINE Gorilla



「乗りやすさを追求したんだ」

このSHOP唯一の4MINIじゃないマシン

スタッフ所有の1台が、激レアな雰囲気ムンムンだったので取材しました。このSHOPに置いてある、唯一の4MINIじゃないバイクです。東ドイツのSimsonというメーカーの、KR51/2というバイクで、ニックネームはSchwalbe(鳥の名前だそう)。2ストエンジンで最高速は60km/h。1980年のモデルだそうです。



◀細身のベスバのようなスタイル。大きなバーエンドウインカーやカバードされたハンドルがレアな雰囲気満点ですね。

◀左のメインキーらしきものは、操作がわかりません。今までどこを走ってきたのか、知りたくなるメーターは、7023キロの走行距離を表示してます。

Ape50ですが4MINIじゃございません

お気に入りのジャパニーズブランドのステッカーをベタベタ貼ったピアジオ社製の3輪トラック、その名も「Ape50」。ど真ん中に運転する1人乗りでワイパーは1本です。「これでイベントに行ったりするんだ」。



▲4MINIの搬送にピッタリの大きさなので、4MINIと車体は似合ってますけど、イタリア生まれのピアジオ製なので、ドイツ人の体格とフィットするのはビミョー。

◀サービス精神旺盛なブウワカーさんが実際に積み下ろしを実演。

01. 個性的なシートカウルやタンクから続くチェッカーラインがオシャレ。シート幅もあり、ロングツーリングでもオシロが痛くならない仕様なのだ。
02. ナイス110のエンジンには、2ストのチャンパー用のようなテーパー形状のステンレス製マフラーが装着される。
03. 直筒風に左サイドに配されるマフラーはワンオフのステンレス製だ。

こちらSHOPスタッフのアルイッドのマシン。128ccで17psを発揮するという。フロントフェンダーからライト、タンク、シートと流れるラインのペイント、ヘッドライトの形状も斬新。幅の広いシートや高めのハンドルなどでツーリングでも疲れ知らず。



OWNER Aruid (47歳)  
MACHINE Monkey

色使いも見事な超実用派

「日本のパーツは人気だよ」という。アイテム別の人気はスイングアームがキタコとGクラフト。ヘッドはSP武川のスーパーヘッド+R。リヤショックはデイトナキャブレ

▼SP武川製BOMBERマフラーやキタコ製スイングアームなどもお気に入りのアイテムだという。



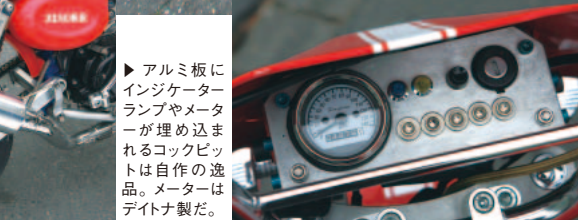
▶アルミ板にインジケータランプやメーターが埋め込まれるコックピットは自作の逸品。メーターはデイトナ製だ。



「19psの143ccだよ!」

OWNER Mark (24歳)  
MACHINE Monkey

アチェルビス製カウルが特徴的なマークの愛車。彼はココの従業員で、もちろん4MINI好き。エンジンはナイス110を搭載しキャブはVM26φ。143ccで19psをマークしたんだって〜。



ペーターさんとブウワカーさんという2人の社長が切り盛りするモンキーガレージ。「この店は好きだからやってくるんだよ」という通り、ペーターさんは8年前まではクツ屋さんをやっていたし、ブウワカーさんはジューリー系の職業だったという。まさに好きが講じて2000年から始めたこのSHOPは、3年ほど前から軌道に乗り、今では5人のスタッフをかかえ、お客さんの数は250人くらい。「DAXとモンキーだけが好きなんだよ」というだけあって、250人のお客さんは7割がDAX、3割がモンキーユーザーという4MINI専門SHOP。毎年12月には全員がサンタクロースの着ぐるみを着て、朝から暗くなるまで走り続けるツーリングも行っているという。

取材は日曜日だったが、たくさんの4MINIファンが集まり4MINI談義に花が咲く。少し驚いたのが年配の4MINIオーナーと一緒に来ている年配の女性も4MINIを楽しんでいること。いくらオートバイが文化に根付いていると言っても、年配の女性までが4MINIを改造して楽しんでいる光景には始めて遭遇した。それとSHOP内にあるスタジオではモデルさんと呼んで社長自らがカメラ用の撮影を行っているのもビックリだった。スタジオがあるというだけでビックリなのに、社長自らがカメラを持ってポーズを指示している光景は、なんだかとても楽しそうだった。

取材は日曜日だったが、たくさんの4MINIファンが集まり4MINI談義に花が咲く。少し驚いたのが年配の4MINIオーナーと一緒に来ている年配の女性も4MINIを楽しんでいること。いくらオートバイが文化に根付いていると言っても、年配の女性までが4MINIを改造して楽しんでいる光景には始めて遭遇した。それとSHOP内にあるスタジオではモデルさんと呼んで社長自らがカメラ用の撮影を行っているのもビックリだった。スタジオがあるというだけでビックリなのに、社長自らがカメラを持ってポーズを指示している光景は、なんだかとても楽しそうだった。

じつは我々モトチャンプが日本から取材に来るということで、日本の雑誌社を取材するために、現地のテレビ局も取材に来ていた。「ドイツの4MINIのレベルはどう思う?」「日本はイベントに何台くらい集まるんだ?」などなど、いろんな質問を受けたが、やはり4MINI好きの彼らは、4MINI発祥の日本をかなり意識しているらしく、モトチャンプや別冊の4MINIチャンプを欠かさずチェックし、情報収集していると語ってくれた。とても嬉しいことだ。

静かなDAX用マフラーもオリジナルを3種類販売しているという。

ターはケイヒン製の24φ、26φ、28φ。ホイールはデイトナSP武川、Gクラフトという。日本製以外で人気のパーツはナイス110のエンジンスワップによる142ccか180cc仕様。車検が通るように静かなDAX用マフラーもオリジナルを3種類販売しているという。



OWNER Dieter (34歳)  
MACHINE Monkey

モンキー歴26年!

▶これは49cc用のナンバープレート。下のステッカーはハンバーのホンダSHOPで購入したことが書かれています。



OWNER Alex (31歳)  
MACHINE Monkey



オリジナルが好きなのよ



OWNER Jenny (19歳)  
MACHINE Monkey

「サウンドがイイんですよ」

ほとんど改造せずにオリジナルのカワイさを満喫しているアレックスさん。色合いもイイし、ノーマルの雰囲気を楽しんでいるのも、ある意味新鮮でイイですよ〜。



▶キタコ製のJMCA認定マフラーをチョイス。このカーボンサイレンサー、今回の取材で高人気です。

◀このナンバープレートは50cc以上の登録で、車検証記載の最高速が80km/h以上だと高速道路も走れることとなります。



OWNER Christopher (21歳)  
MACHINE Dax

「個性あってイイですよ」

「DAXのほうが乗ってる人が少ないから選んだんだ」というクリストルフ君はこの店のスタッフ。このDAXが大好きみたいで、車体のクレイさからも好きの度合いがわかります

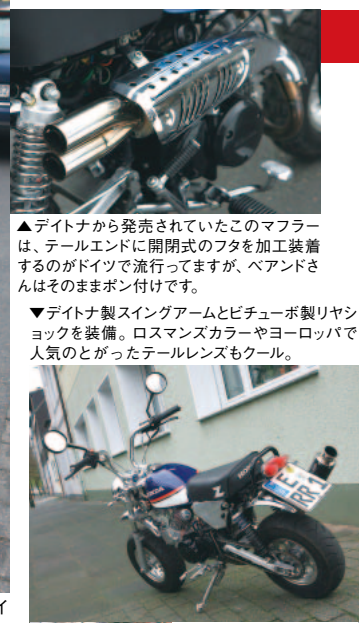


OWNER Bernd (49歳)  
MACHINE Monkey

「小さくてカワイイでしょ」

デイトナ製スイングアームやマフラーを装着し、ナイス110エンジンは128cc仕様。「この小ささが楽しいポイントなんだ」と、まるでかわいいペットでも見るような笑顔が最高です。

▶ホイールやスイングアーム、リヤショックやサイレンサーまでシルバーで統一感アリ!



OWNER Gerd (52歳)  
MACHINE Monkey

4MINIは年齢、性別問いません!

「おっさんばかり楽しんでズルいじゃない!」みたいな感じでしょうか? 年齢とか性別なんて関係なく楽しめるって証明してくれたのがゲードさんです。しかし女性のマシンとは思えないほどカスタムされてますね〜。

ライダーズジャケットまで纏ってヤル気まんまんなザビネさん。インタビューによると、「ハンドバックと同じ感じが好き」という、雰囲気はわかるけど、やや意味不明な回答をいただきました。



OWNER Sabine (44歳)  
MACHINE Gorilla

「ハンドバックと同じよ」



OWNER Alf (42歳)  
MACHINE Monkey

シブい仕上がり 走りも高レベル

▲デイトナから発売されていたこのマフラーは、テールエンドに閉閉式のフタを加工装着するのがドイツで流行ってますが、ベアトさんはそのままボン付けです。

▼デイトナ製スイングアームとビチューボ製リヤショックを装備。ロスマンズカラーやヨーロッパで人気のとがったテールレンズもクール。



THE 4MINI WORLD SURPRISING DISCOVERY vol.10 Duisburg Germany

黒を多用し、シブい雰囲気に仕上げたアルフのカスタム車。ロングホイールベースなので前後8インチタイヤでも安定感があります。エンジンはナイス110ベースの164ccでパワーもトルクもタツプリ。

▲MiCONI? ミコニ? ミコニをバロツたキャブでしょうか? MODELIN JAPANって、ホントはMADE IN JAPANって書きたかったのかな? ま、日本のブランドは世界的に有名ですから、バロツたりしたくなるんでしょ〜か。

▶OVER製の160mmロングスイングアームを装備。それに合わせて自作のリヤフェンダーを装着し、雨天走行でも背中がグチャグチャにならないよう配慮。



8歳のときからモンキーを所有しているというディータさん。ブラックとグリーンの色使いがセンス良く、デイトナ製40mmロングスイングアームやキタコ製マフラーを加工装着など、要所を抑えたカスタムとなっている。



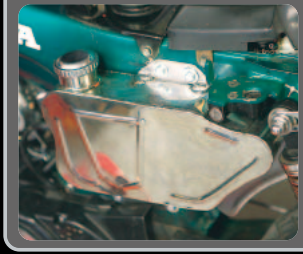
▲ヨーロッパでも高い人気を誇るSP武川製のスーパーヘッド10Rを採用。シリンダーはグリーンでペイントされワンポイントとなる。

▲フレームやシリンダー、スタンドやグリップなどにグリーンをあしらひ、ニックネームはグリーンフロッグ(緑カエル)だそうです。



### オリジナルパーツもあるんです

じつはコレ、ロングツーリング時にガス欠にならないための、リザーブタンクなんです。ステンレス製で仕上げはポリッシュ。価格は139〜159€(約2万2000〜2万5000円)。



◀この日集まってくれた4MINIオーナーのみなさん。大きなフラッグホルトインナーをバンに挿んで食ったりドリンクを飲むからビール飲んだり、ホントに楽しそうなお休日を一緒に過ごさせてもらいました。ダンクンション(ドイツ語のありがとう)です。



▲アルミ削り出しリムの3ピースホイールも見慣れないアイテムです。



▶この陽気な2人が社長さん。Peter Sturm(ペーター・ストルム)さん(49歳)(左)とBurkhard Tech(ブークハート・テック)さん(48歳)(右)。お2人とも、40歳を超えてからそれまでの職業をやめて転職したんです。それだけ好きだっておっしゃってました。



▼ドイツの4MINI系ショップは、ほぼもれなくレアなデッドストックを保管しています。左はアメリカ向けのクリスマス商戦モデルっていうから、レア度も高いでしょ?



◀大型ストロボも完備する撮影用スタジオ。この日はモデルを2人呼んで社長のペーターさんが自ら撮影。カタログやポスターは社長が全部撮影してるっていうからビックリでしょ。

### ドイツの4MINI専門SHOP Monkey Garageをチェック!

8年前にオープンし、今では5人の従業員もいるというモンキーガレージ。SHOP内には撮影用スタジオがあったり、レアな小物があったり、1日いても飽きないオモシロSHOPでした。

あり、モンキーガレージは77番地。反対側が奇数というドイツの法則が、じつは到着するまでに迷いまくりました。ドイツは道の片側が標識で、反対側が奇数というドイツの法則が、あり、モンキーガレージは77番地。



Tech Team's Monkey Garage  
Kaiserstrasse 77 47178 Duisburg Germany  
<http://www.monkey-garage.de>